



川にごみを 捨てないで！

▲このごみの川を美しい澄みきった川に一(2月9日、舟入川で)
▼舟入川下流の高知市大津地区では、上流からのごみに大変迷惑。
地域住民が協力して清掃作業を行い、川の美化に努めています



川はごみ捨て場ではありません。残念ながらこんなわかりきったことが守られていないのが現状です。

川に沿って少し歩いてみてください。発泡スチロール、ビニール、木ぎれやダンボール、空き缶とさまざまなごみが散乱していて、あまりの汚さに思わず顔を背けたくなるはずです。

「自分の家や庭がきれいになればそれでよい」という考えでポイ捨てした少しのごみも、集まれば多量になります。こうして次から次に流されてくるごみに、下流の人たちは大変迷惑しています。また海に流れ出たごみは漁場を荒らし、海岸に打ち上げられ被害は広がるばかりです。

「ごみは捨てない、流さない」このあたりまえのことを、市民一人一人が胆に路じ、みんなの共有の財産である川の流れを美しく守り育てていきましょう。

川もごみも 泣いている



広報委員
西森律さん

美しい川の流れ、それを見ることは心が洗われ、ほっと一息つきたくなります。そんな清らかな川が南国市に見られるでしょうか。
「川とはごみを捨てるどころならい」といわんばかりにごみが捨てられています。
舟入川べりを歩いて、そのごみの多いのにただ驚くばかり。ビニ

ールや発泡スチロール、牛乳のパック、川底には一面にジュースの空き缶、大きいものではごき、子供の乗り物まで、よくもこれほど投げ捨てたものです。中には、市のごみ袋に入れたままのものもあり、ごみの山の間を川が遠慮して流れているような風景です。
このごみをだれかが川に入つてのけなければならぬでしょう。とても大変なことです。捨てられたごみのために南国市民のモラルの低さが現実となって現れています。川もごみも泣いています。
「川へごみを捨てる」そのときいっしょに美しい心まで捨てることとなります。川へごみを捨てないで……。